



甲中だより

教育目標『向上心』『思いやりの心』『健やかな体』



地域運営学校
八王子市立甲ノ原中学校
令和7年7月1日
学校だより
第4号

「より良い世界を実現するために」 ～Pay forward の力を信じて～

校長 酒井 章

今、世界ではさまざまな問題が起きています。ウクライナでは長引く戦争により多くの人々が命を落とし、家を失い、平和な日常が奪われています。イランでも人々の自由を求める声が抑えられ、衝突や混乱が続いています。こうしたニュースを見るたびに、私たちは「世界はなぜ争いを繰り返すのか」と考えさせられます。

国と国、人と人の対立は、すぐに解決できるものではありません。しかし、私たち一人ひとりがどのような思いで毎日を生きるかが、未来を少しずつ形づくっていくのではないのでしょうか。大きな力を持たない私たちには限られているかもしれませんが、それでも、小さな行動が広がっていく力を、私は「Pay forward (ペイフォワード)」の考え方に見いだしています。

Pay forward とは、Pay back から生まれた表現です。Pay back が「やり返す、仕返しをする」などの意味です。しかし、Pay forward は、相手に返すのではなく、「されたことを、次の誰かに渡していく」という意味の表現です。つまり2人の間で完結するのではなく、他の誰かに広がっていきます。私がこの考えに出会ったのでは、30歳ころだったかもしれません。ある映画を通じてこの考えに触れ、とても感動したのを覚えています。

この考え方が広がれば、私たちの身近な社会はもちろん、やがては国を超えて世界にも良い影響を与えることができるはずです。たとえば、目の前に困っている人がいたとき、私たちは手を差しのべることができます。自分が親切にされたとき、それを他の誰かに渡していくことができます。家庭でも、職場でも、地域でも、小さな善意を積み重ねていくことは、決して無駄にはなりません。むしろ、その小さな行動こそが、争いの少ない社会をつくるための種になるのだと思います。

「誰かがやればいい」「自分ひとりが動いても意味はない」と考えることは簡単です。しかし、世界の分断や無関心は、そうした思いの積み重ねによって生まれてきたとも言えるのではないのでしょうか。反対に、一人ひとりが「自分にできることは何だろう」と真剣に考え、行動を始めれば、社会も世界も少しずつ変わっていくはずです。

ウクライナやイランで起きている悲しい現実には、「遠い国の出来事」でしょうか。平和は、私たちの日常の行動の延長線上にあるものだと思います。私たちが優しさや思いやりを次の人へと送り続けること、その連鎖こそがより良い世界を実現するための一歩なのです。

未来を変える力は、今ここにいる私たち一人ひとりの中にあります。だからこそ、今日、私たちが選ぶ行動がとても大切なのです。

～6月4日（水）体育祭～

今年度の体育祭は、雨天延期となつての開催となりましたが、4日は好天に恵まれ、充実した全校体制での初めての行事となりました。4月の段階から実行委員を立ち上げて準備し、本番まで生徒全員で協力しあい作り上げることができました。



～いのちの大切さを共に考える日～

八王子市内全小中学校で制定・「いのちの大切さを共に考える日」に伴い、6月20日に全校朝礼にて、校長先生から講話がありました。

いのちの大切さ、いじめにより辛い気持ちになってしまう仲間をださないことを目的に、「いのちのおもみ」「他者への気持ち」について中学生としてしっかり考えてくださいという話がありました。



～甲ノ原中生の活躍紹介～

（7月号より、前月の朝礼で表彰された甲ノ原中生を紹介していきます。）

○スケートボード AJSA2025 関東アマチュアサーキット第1戦
レディース 優勝 3年 上原 あいら さん



○柔道 第36回多摩ブロック中学校女子柔道選手権大会
優勝 3年 岡本 唯花 さん



7月の主な行事

2日（水）がん教育（2年）5校時	17日（木）大掃除
3日（木）復習確認テスト（3年）	18日（金）終業式
4日（金）進路講話（2・3年）	給食なし
第2回学校運営協議会	22日（火）面談〔始〕
7日（月）一斉委員会	～（全学年）
9日（水）生徒会集会	28日（月）面談〔終〕
10日（木）安全指導	
11日（金）避難訓練	
16日（水）アンガーマネジメント教育	SC（スクールカウンセラー）来校日
（1年）	2日（水）、9日（水）、16日（水）



※「甲中だより」は、プリントではなく **Home&School** にて配信させていただいています。